

平成17年度

仁摩中学校 職場体験学習



小さな社会でしっかり学んで
大きな社会を
たくましく生きる

1, はじめに

本年度、仁摩中学校は、キャリア教育推進地域指定として、地域の皆様のご協力のもと、職場体験学習の実施規模を拡大させ、2年生で夏休み中に2日、3年生では9月の中旬に2日、合計4日間もお世話いただきました。

その中で各事業所の皆様には、多大なご心労とご協力をいただき誠にありがとうございました。

また、本年度の事業の目的の一つである、キャリア・アドバイザーの皆様の人選とその後の協力依頼に対しましても、物心両面において多大なご援助をいただきましたことを、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

また、保護者の皆様にも、お子様達の就業の第一歩を見つめ支えていただきました。現在、各事業所におきましては、決して景気が好調とはいえない中、お子様方をどのように育て社会に送り出すかが重要な課題となっています。今、仕事について「仕事がつらい。」とつぶやく我が子をいかに励ましていくか、いかに支えていくかが親として重要な役割で、いかに子供の背中を押して、一歩前に歩ませるかを考えなくては成らない時代になっています。この職場体験学習が、親にとっても子どもの将来の就業を真剣に考えるための第一歩になればありがたいと思っております。

さて、地域の方に支えていただいて実施できた、平成17年度仁摩中学校職場体験学習事業を、インターネットホームページにまとめるとともにこの度このような形で冊子にまとめさせていただきます。

お忙しいとは存じますが、ご覧いただき、また様々な視点から意見をいただければ幸いです。

次年度もよろしく願いいたします。

2, キャリア教育とは

児童生徒一人一人の勤労観，職業観を育てる教育です

キャリア教育の視点から従来の教育の在り方を見直し

各学校での教育課程の改善を促す

「学校（社会）が自分（達）に何をしてくれるか」から

「自分（達）が学校（社会）に何ができるか」への発想の転換

【キャリア教育の基本方向】

夢を大切に、夢を持てる社会、夢をはぐくめる環境を作り出す。

学力を充実させ、**社会に貢献**できる意識を持った社会人を育成する。

職業人としての資質・能力を高める指導の充実

働くことの意義の理解，自立意識の涵養及び**豊かな人間性**の育成

そして**地域指定のキャリア教育推進**とは

規範意識とコミュニケーション そして **親子の会話**

夢を持てる家庭・社会・学校を作ろう。

(キャリア教育の根底には家庭がある)

【キャリア教育推進のための方策とは】

各発達段階に応じた「能力・態度」の育成を軸とした学習プログラムの開発

3校種の連携のある教育課程への適切な位置付けと指導の工夫・改善

3校種と地域が接続した体験活動等の活用（職場体験，インターンシップ等）

社会・経済の仕組みについての現実的理解・労働者としての権利・義務等の知識の習得

【キャリア教育を推進するために心がけます】

まず保護者との連携の推進

学校からの保護者への積極的な働きかけ（規範意識とコミュニケーション）

家庭の役割の自覚（親と子供と一緒に学び考える）

学校教育への積極的な参画（まず学校のために何ができるかを考えられる生徒の育成）

関係機関等の連携と社会全体の理解の促進

関係機関等がインターンシップ等の実施について連絡・協議・推進していく場を国，地方レベルで整備

地域社会との連携や経済団体，企業等の理解と協力の推進

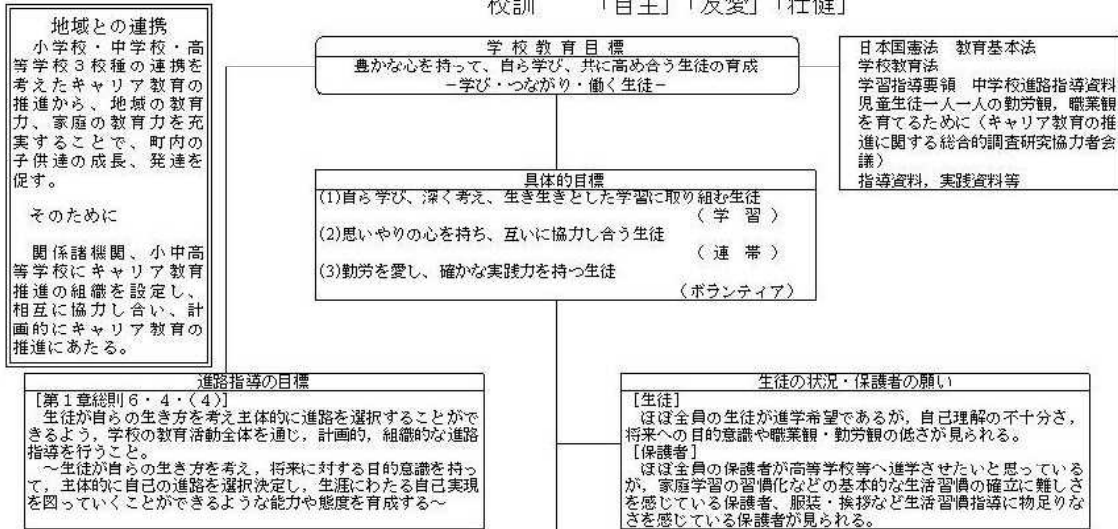
3種類の学校連携と学校外教育資源の活用

インターンシップ受入れ企業・機関等の確保など，体験活動等推進のための地域でのシステムづくり

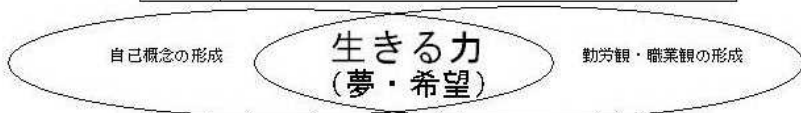
幅広い層からのキャリア・アドバイザー確保・活用のシステムづくり

「小さな社会でしっかり学んで大きな社会をたくましく生きる」

平成17年度 仁摩中学校 キャリア教育全体計画
校訓 「自主」「友愛」「壮健」



研究主題 個性を生かし、広く求めて学ぶ、心豊かな生徒の育成
キャリア教育を通して



授業の開発 教科・総合的な学習・道徳・特別活動
体験学習の導入 生徒会活動

小さな社会でしっかり学んで、大きな社会でたくましく生きる

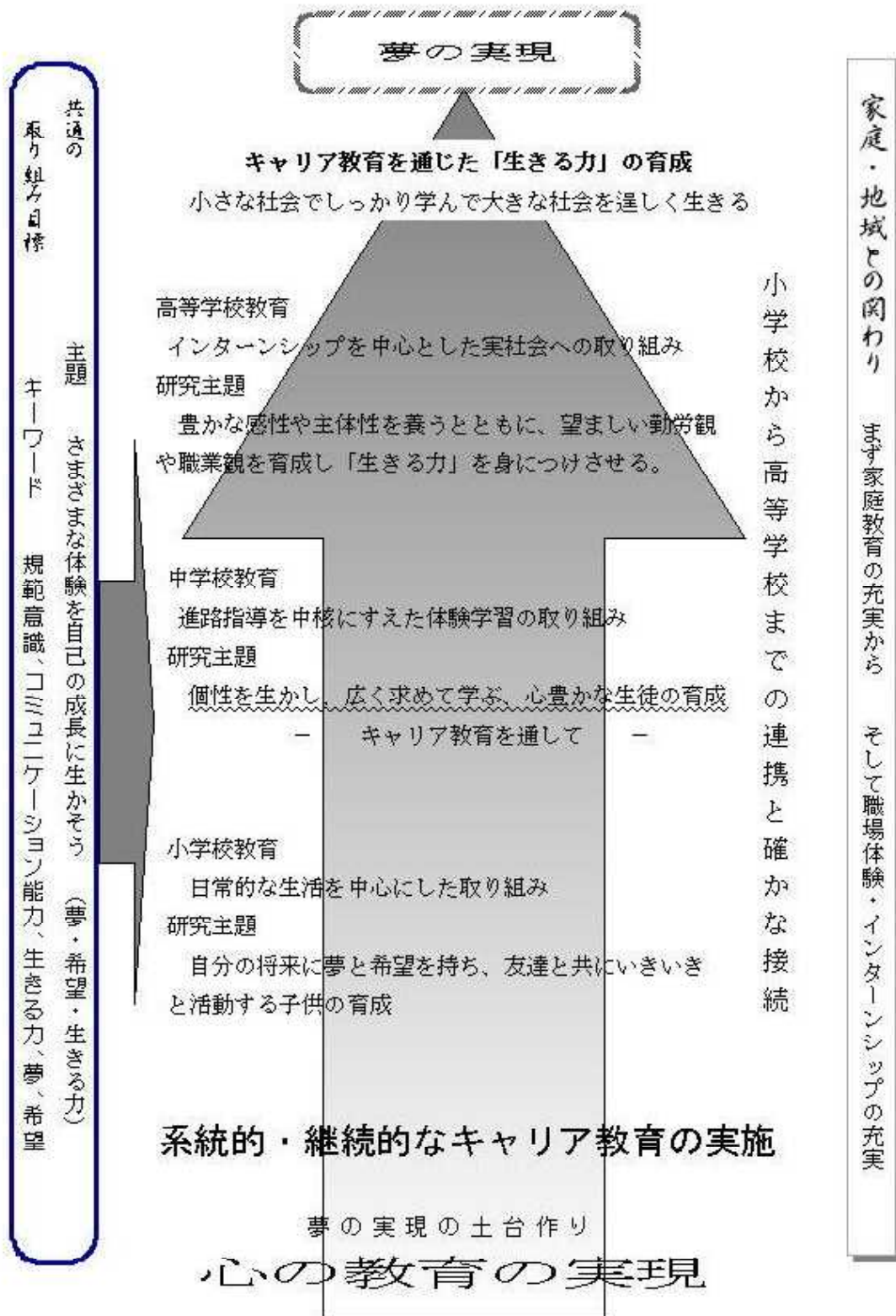
- 自分(達)は社会(学校)のために何かできるかを考える力
- 人間関係形成能力 コミュニケーション能力の伸長
- 情報活用能力 正しい情報を収集し活用する能力の伸長
- 将来設計能力 計画し実行する能力の伸長
- 意思決定能力 自分で選び、解決していく能力の伸長

生徒相互のコミュニケーション 生徒と保護者のコミュニケーション 学校と保護者のコミュニケーション 地域と学校のコミュニケーション

学年進路指導目標		
第1学年	第2学年	第3学年
<p>夢を持つよう！</p> <p>自己をよく理解し、将来の進路への関心を高め、進んで自己の進路を計画しようとする態度を養う。</p>	<p>夢をふくらませよう！</p> <p>自己理解を深め、上級学校や職業などに関する進路情報を理解して、明確な進路の希望や計画を吟味し、実現しようとする態度を養う。</p>	<p>夢の実現に向かって歩み出そう！</p> <p>自己の特性や希望する進路の情報を確かめ、自分にふさわしい職業や学校を選択するとともに、その進路に適応し向上しようとする態度を養う。</p>

各領域における指導内容						
各教科	道徳	学級活動	特別活動 学校行事	生徒会活動	総合的な学習の時間	その他の教育活動
<p>① 授業で、「分かる・できる」(成就感)を感じさせる。</p> <p>② 将来の職業生活に必要な基礎的知識・技能を習得させる。</p> <p>③ 授業を大切に、目標を持って計画的に学習できるようにさせる。</p> <p>④ 自己の能力・適正を知り、それを伸ばさせる能力を身に付けさせる。</p>	<p>① 自己が属する様々な集団の意義についての理解を深めて、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めること。</p> <p>② 勤労の尊さや意義を理解するとともに、奉仕の精神を持って、公共の福祉と社会の発展に努めること。</p> <p>③ よりよい生き方について様々な角度から考えることを通して価値観を鍛え、望ましい進路選択の態度を育てる。</p>	<p>① 生徒一人一人が自己存在感を持って、楽しく生活できる学級づくりをする。</p> <p>② 個々の生徒の進路問題について、適宜教育相談を行い、適切な進路選択ができるようにする。</p>	<p>① 勤労生産・奉仕的行事での啓発的な体験やボランティア活動などの自主的・自発的な活動を通して、興味や関心を高め、自己の個性をよりよく理解させ、それをさらに伸ばさせようとする主体的態度を育てる。</p>	<p>① 学校生活の充実・改善を向上を図る活動やボランティア活動や部活動などを通して、個性の伸長や社会性を高める。</p>	<p>① 自己を見つめ、現在や将来について考え、卒業後の進路を主体的に選択し、生きがいのある生活を実現しようという生き方について考えることができる。</p>	<p>① 適切な教育相談を通して、個々の個性を生かす指導・援助を行う。</p> <p>② 保護者・地域社会・小学校・高等学校など関係機関との連携を図り、生徒を取り巻く教育環境を充実させる。</p>

進路指導実践のための基盤					
生徒指導の機能を生かした指導の充実	学級・学年経営の充実	教職員の協働体制の確立と校内研修の充実	保護者会の充実及びPTAとの連携の充実	地域の教育力を生かした行事の開催や職場体験学習の充実	小学校・高等学校と連携し、キャリア教育の充実

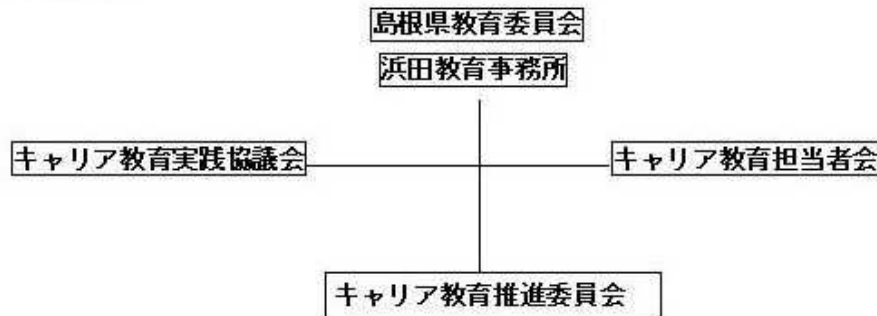


平成16・17・18年度キャリア教育推進地域指定事業組織図

1. 組織編成の目的

・小・中・高一貫のキャリア教育を円滑に推進するため、島根県教育委員会他、関係諸団体の深甚なご支援を得ながら、3校が共同してこの事業を展開する。

2. 研究組織



研究推進部(各校2名)	地域連携部(各校2名)
<p>主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の基盤づくり (目的・内容・方法等) ・小・中・高のカリキュラムの調整 ・公開授業計画 	<p>主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアドバイザーの確保 ・地域との協力・連携 (職場体験・インターンシップ等) ・家庭・地域への啓発 (広報の発行・配布 講演会企画等)

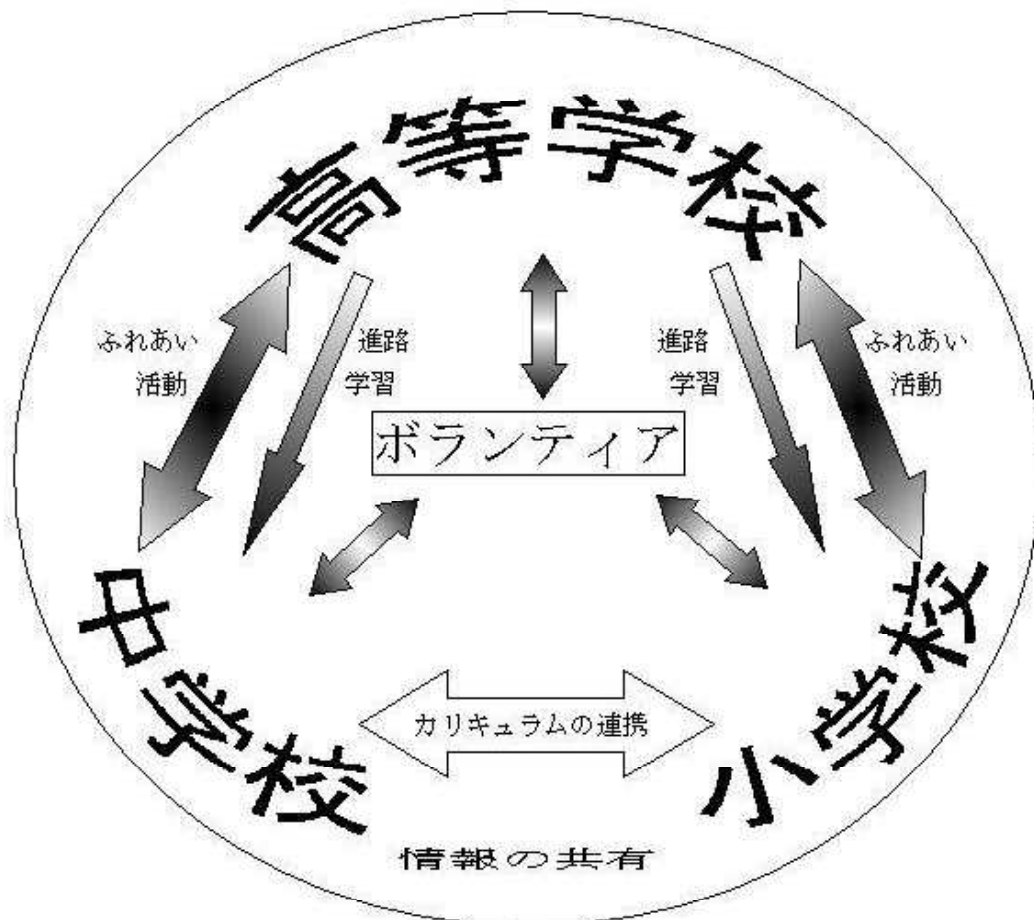
3. 組織の活動

- ・この組織は、キャリア教育推進委員会を中心母体として活動する。
- ・キャリア教育推進委員会は、この共同研究を推進するため、会長の招集により、適宜会議を開催する。(学期に1～2回程度)
- ・2つの専門部(研究推進部、地域連携部)は、それぞれの活動内容について、各校相互に連絡を密にし、正・副部長を中心に推進する。そのため、必要に応じて各専門部会を開催する。(教回程度)
- ・各専門部長は、それぞれの協議内容等について、キャリア教育推進委員会開催時に報告するものとする。

3校種の連携

○学校行事・企画へのお互いの参入 を計画

- 1, 歴史ある活動 … 自然を通したふれあい活動
サンドミュージアム・花時計の花の植え替え
- 2, ボランティア活動
生徒会活動を通して (協力して浜掃除 等)
- 3, 進路学習
高校生の話を聞こう
- 4, 小中学校カリキュラムの連携
教育研究会の活動を通した情報交換
- 5, ホームページを使った情報交換
お互いの行事の新鮮な情報をセキュリティのあるホームページで交換。



3, 仁摩中学校の職場体験学習の計画

1) 実施計画

職場体験学習の実施についてのお願い

日時

2年生

平成17年8月23日(火)～26日(金)

3年生

平成17年9月15日(木)・16日(金)

目的

2年生

初めての職場体験学習を通して、仕事 に対する苦労や喜びを知り、
職業に対する意識を高め、自分の将来の指針とする。

3年生

昨年の経験と反省を生かし、お世話に なる職場で少しでも役に立
てるような活動を展開する。

内容

雑務一般、その他危険な仕事以外は、何でもしようと指導していま
す。

2年生の生徒が、8月8日(月)～12日(金)のいずれかの日に担
当の方と事前の打ち合わせを行うために何うことを計画しておりま
す。その時に、業務の内容や携行品などについて生徒にご連絡下さい。
打ち合わせの日の確認と実習日の決定のために

7月12日(火)～15日(金)

に参加生徒が担当者の方に電話連絡をさせていただきますので、よろ
しく願いいたします。

3年生の打ち合わせは、体育祭の代休日の9月12日(月)、13日(火)
が授業日14日(水)の午後に計画しております。

よろしく願いいたします。

2) 体験を協力頂いた事業所

2年生事業所一覧

- 1 五人男水産
- 2 J A石見銀山仁摩支所 宅野支所
- 3 あすてらす (今回希望なし)
- 4 出雲屋蒲鉾店 (今回希望なし)
- 5 石見銀山生活文化研究所
- 6 ウェルネス薬局大田店
- 7 大国デザインセンター
- 8 大田市立病院
- 9 かめや
- 10 久利動物病院
- 11 さんのあマート仁摩店
- 12 森林組合
- 13 西部消防署
- 14 通所介護事業所 むつみ苑
- 15 仁摩診療所
- 16 仁万郵便局
- 17 美容室 ウエーブ
- 18 プロフォトセンター パピー
- 19 ポプラ仁摩店
- 20 松江石油仁万給油所
- 21 松村鮮魚店 (今回希望なし)
- 22 安原蒲鉾店 (今回希望なし)
- 23 山内石油
- 24 れすとらんココット
- 25 中島石油
- 26 仁摩保育所
- 27 みどり保育園
- 28 ヘアギャラリー M
- 29 ヘア 野木
- 30 ガトーサンマリノ
- 31 さざんかの家

(順不同)

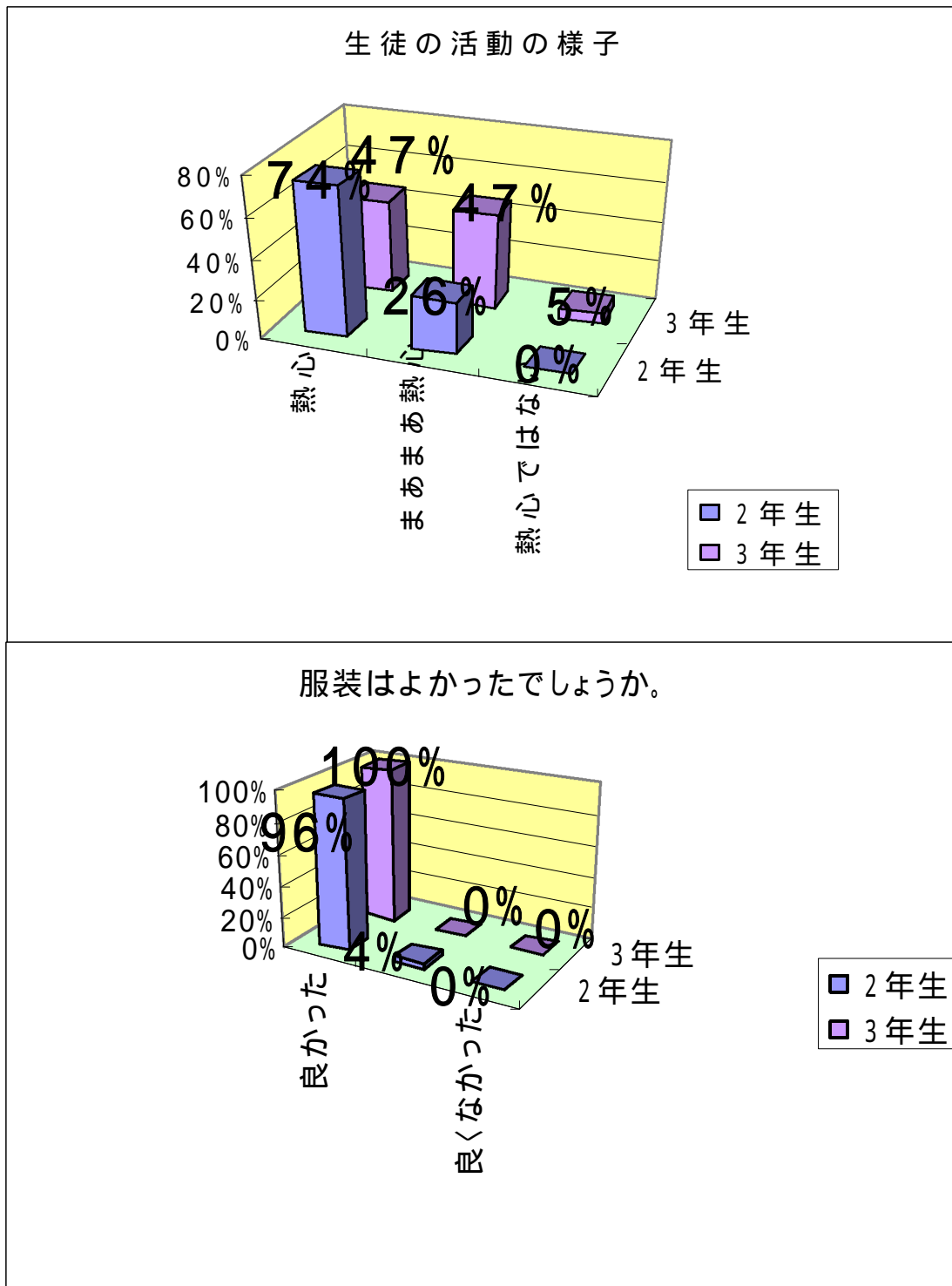
3年生事業所一覧

- 1 仁万郵便局
- 2 五人男水産
- 3 西部消防署
- 4 大国デザインセンター(今回不可)
- 5 石見銀山生活文化研究所
- 6 れすとらんココット
- 7 J A石見銀山仁摩支所 宅野支所
- 8 ポプラ仁摩店
- 9 さんのあマート仁摩店
- 10 出雲屋蒲鉾店
- 11 ウェルネス薬局大田店
- 12 松江石油仁万給油所
- 13 中島石油
- 14 山内石油
- 15 仁摩診療所
- 16 大田市立病院
- 17 久利動物病院
- 18 通所介護事業所 むつみ苑

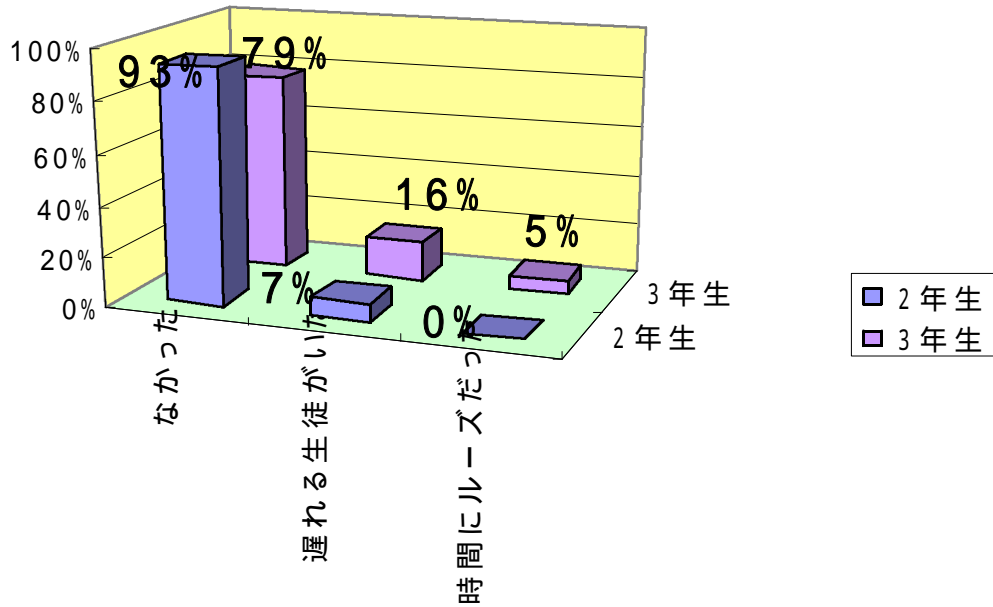
(順不同)

4, 職場体験を終えて

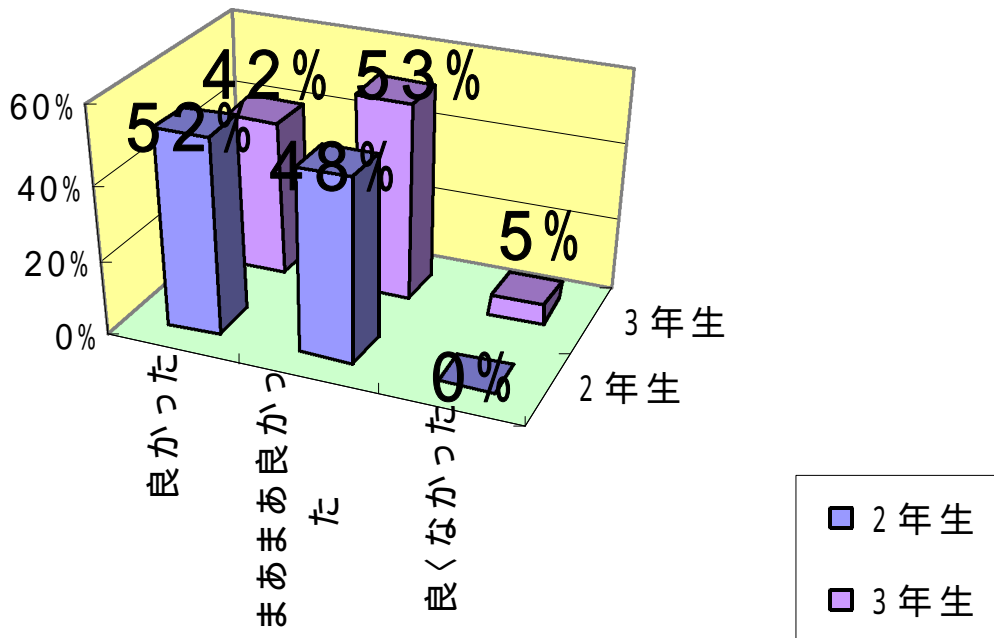
1) 職場体験 終了後のアンケート



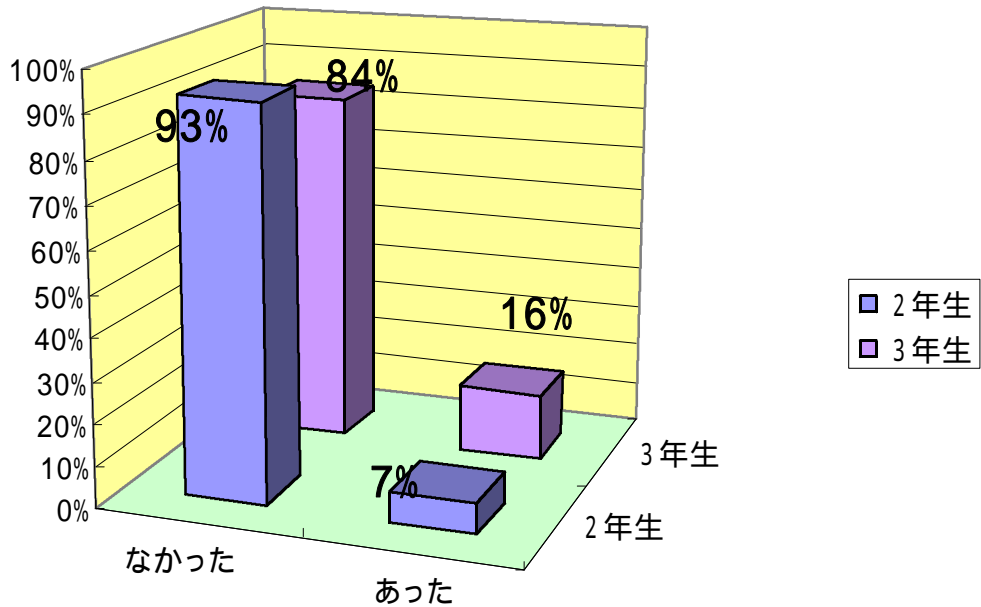
出勤時間など、決められた時間に遅れることはなかったで
しょうか。



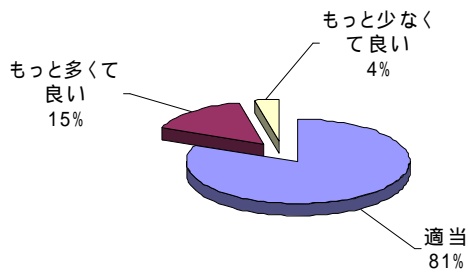
挨拶言葉遣い



ご迷惑をおかけしたこと、問題となる行動などはなかったでしょうか。



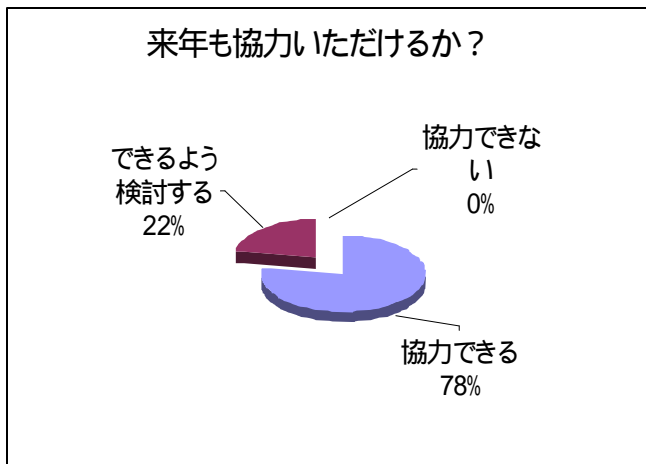
人数は適当でしたか？



2年生

打ち合わせに遅刻された方がおられました

作業中、もっと離れて作業をするように指導したが、3人がすぐに一ヶ所に集まり危険に思ったことがある。



3年生

一部の生徒さんが開始時間に遅れました。

喫茶店の掃除などしてもらったのですが砂糖のこぼれたのがそのままでした。

くつのはき方（スリッパ履き）を1回注意しても直してもらえず2～3回注意しました。

2) 2年生 3年生と2回の体験活動を受け入れていただいた結果

3年生になって向上した面

2度目ということもあり少しリラックスできたのではないのでしょうか。従業員の皆さんとも楽しそうに お話できていました。

2年間継続していただいたことはありがたかった。

昨年体験されているということで動きがとても良かったです。もう少し元気があるとさらに良かったと思います。

昨年に比べて、全体に落ち着きと余裕がありました。また、救命講習の再実習において学習力の高さに驚かされました。ロープ結索時の集中力、習得心も強く感心しました。

昨年に比べれば声がよく出たり受注などができるようになりました。

昨年の反省で挨拶や声が小さかったと反省しておられました但今回はよかったと思います。欲を言えばもう少し元気があってもよかったと思います。

昨年より熱心でした。

少し笑顔が見られたところと返事ができたところ。

前年度指導した掃除などは一回の指導で上手にできました。

熱心さと話しぶりが良かった。

ハキハキと答えることができる。笑顔が自然に出てきてとても良い感じになった。落ち着いた感じがして安心できる。

一つに仕事が終わったら必ず報告に来てくれました。

昨年と同様が6件

×意欲が乏しくなったように見えた。

×やはり、様々の職種を体験してみられた方がよいのではないかと思う。

5,平成17年度職場体験を終えて反省と考察

突然、「今年も職場体験に行きます。」と告げられた3年生の心中はどうだったか複雑ではかりしれないものがありますが、世の中の情勢と、仁摩町がキャリア教育の指定もうけていることからその意義は十分に理解できていたと思います。

しかし、中には、働くことに対し、「今こんなことをしなくても…」という意識のあった生徒もいたようで、学校の教育活動は、やはり計画的ではないといけないことを痛感しました。

その反面、今年の3年生が頑張ってくれたことで、次年度の現在2年生の諸君は、「3年生になってもう一度この職場で」と意識も高く活躍できたようです。

事業所に書いていただいた反省の中に、

「仕事には、華やかな部分と、それを支えている単調な部分があることを知らなくては成りません。どんなことも、その仕事に必要な仕事です。つらく単調な仕事でも、頑張って取り組んでほしいです。」

と、述べられた事業所があったことに大変感謝しています。

工夫し、たくさんの仕事を体験させてくださった事業所も、本当に地道な取り組みを経験させてくださった事業所も、子供たちへのメッセージをしっかりと伝えていただいたと思います。

あとは、学校でも、各家庭でも働くことについて、どう語っていただけるかが、今後の子供たちの勤労観を大きく左右すると思います。

子供たちに接するものとして、子供たちの一番身近な労働者は、保護者であり教員である自覚を持ち、子供たちを育てていきたいと思います。

職場体験学習と 学力の向上がどう結びつくのか？

まず、学力がついての学生。
この職場体験学習がどう学力の向上につながるのか？

職場体験で夢を持つ
夢の実現のためには学力が必要

仕事をすると言うことは
どんなことにも挑戦しなくてはいけない。
それは、どんな学習にも挑戦していくことにつながる。

勤労意欲とは
学習の意欲にもつながる
勤労意欲は まず家庭での手伝いが基本
働くことは
家族の一人として何が出来るか？
学校の生徒として何が出来るか？
社会の一員としてで何が出来るか？
これを追求することではないのか。
そのために、
どんな力をつけるか考えることが重要だろう。